



こんにちは 日本共産党府議会議員
さこ祐仁 議会報告

ホームページ <http://www.yuuji-sako.hello-net.info/>

2015年 2月22日 NO207号

連絡場所

日本共産党上京生活相談所
 813-2117

高浜原発の再稼働はストップを！

2月13日、お昼に府庁正門前で開かれた高浜原発再稼働許すな市民集会に参加しました。



2月5日には、きたかみ原発ゼロネットのみなさんと京都府知事に「住民の安全安心を確保できない下で、高浜原発3・4号機の再稼働には反対・中止を表明してください」と申し入れを行いました。



2月12日京都市北土木事務所へ上京区住民アンケートに寄せられた要望をまとめた要望書を提出しました。28項目の要望についての説明を住民の方が行いその場で回答を得ることができない事柄については、後日代表者に文書で回答してもらうことにしました。



2月14日出町榊形商店街の大根炊きへ、くらた市会議員と参加。商店街のみなさんご苦労様でした。

原子力規制委員会は、高浜原発3、4号機について、再稼働の前提となる新規規制基準に「適合」とする審査書を決定しました。しかし、原子力規制委員会の新規規制基準そのものが、地下の活断層、避難計画、MOX燃料の危険性や14基もの集中立地の問題など、まともな検討もないまま決定されるなど、ずさんな内容です。

また、原子力規制委員会の田中委員長自身が、「安全審査ではなく、基準の適合審査」であり、「過酷事故は起こりうる」「安全とは申しません」と述べています。しかも、高浜原発に隣接する京都府と舞鶴市など関係市町村が関西電力との間で結ぼうとしている、安全協定には、再稼働への「同意権」はありません。こんな状況のもとで、再稼働同意権なしの安全協定を結べば、再稼働に道を開くのではないのでしょうか。

上京区は高浜原発から60キロ圏内にあります。みなさんの生命と安全、財産を守るためにも高浜原発の再稼働など、絶対に認められません。

和装伝統産業維持へ 京都府が対策協議会設置 —平成27年度当初予算案に盛り込む—

さこ祐仁議員は、これまで毎議会ごとに、西陣初め和装伝統産業の後継者の育成、道具類や部品の確保、販路の拡張などについて質問してきました。

これらの問題を個々バラバラ行うのではなく、西陣織の産地で後継者の育成や技術支援、情報の提供・共有、消費者への魅力発信などができる総合的なセンター、施設を府・市で設置すること。

実効性のある西陣産地の振興のため、研究者、地域住民、業界、働く人たちの知恵と力を集めて、産業と地域再生・まちづくりを考え実行する協議会を設置し、抜本的な振興策を実行することが必要ではないかと求めてきました。

2月定例議会に提案された27年度予算案に、伝統産業の分業体制が崩壊の危機に瀕し、ものづくりとしての機能が失われ、産地が消滅する可能性があることから、分業体制を維持・再構築し、産地を活性化するため、産地組合、支援機関、関係企業及び行政が一体となつて取り組む対策協議会を設置する「伝統産業分業体制再構築支援事業」が盛り込まれました。

「これまでの体制と違い、危機感を持って和装産業の再生に取り組んでいく」と商工部は説明いたしました。一歩前進です。さらに現場で働くみなさんの声を反映させ、和装伝統産業の振興をはかっていきます。